

# 帯広の木々幼稚園

令和元年度NO. 18  
(2020. 2. 27)発行

学校法人 帯広葵学園

2月14日(金)雲一つない青空の下、雪中運動会が行われました。今年は本当に暖冬で、この日の最高気温が+9度と、とても2月とは思えないほどの汗ばむ陽気でした。

ゲームの一つ目は、「そりリレー！」でした。これは、各クラスが一行に並んで、子どもを乗せたそりを、保護者(お父さんかお母さん)が引っ張って競うというもので、思った以上にスピードが出て、白熱したものとなりました。

二つ目は、「高く積めるかな？」でした。親子が協力して、少しでも高く雪山を積んでその高さを競うというものでした。

三つ目は、子ども競技「トンネルをくぐって」で、子どもが一斉にスタートし、途中にあるトンネルをくぐり、おやつを取りに行くという競技です。子どもたちは、お目当てのお菓子をもらおうと頑張っていました。

例年、この時期は寒さが厳しく、全国的にインフルエンザの流行期でもあります。本園でも、流行による学級閉鎖などを心配していましたが、無事運動会を開催することができました。

最後に、この運動会のために、たくさんの保護者のみなさんに来ていただき、本当にありがとうございました。

## インフルエンザに注意を

先週まで帯広市内の小中学校で、「インフルエンザによる学級、学年閉鎖」が多いとの情報がありましたが、幸い本園では、欠席の子が少ない様子でした。しかし、油断はできません。そこで改めて、インフルエンザについて、お知らせします。



### ○インフルエンザって？

咳やくしゃみなどによって感染し、広がる病気で、毎年多くの感染者が出ます。悪寒、急な発熱、関節痛に続き、下痢、嘔吐、咳、くしゃみ、喉の痛みなどの症状が見られます。放っておくと周りへの感染を広げるだけでなく、合併症の危険も伴うので、インフルエンザの症状かなと思ったら、医療機関で見てもらいましょう。

### ○インフルエンザになってしまったら・・・

まず、医療機関にかかり、インフルエンザかどうか診断してもらいましょう。高熱や下痢が続くと脱水症状を起こしやすくなるので、こまめな水分補給が大切です。感染力が強いので、しっかり自宅療養しましょう。

### ○気を付けて！インフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症の一つで、主に5歳以下の子どもに発症します。発症から比較的早い時期にけいれんを起こす、呼びかけても反応しないなどの意識障害の他に、急に怒ったり、怯えたり、うわごとを言うなどの言動が見られることもあります。このような症状が出たら、すぐに医療機関を受診してください。

### インフルエンザとかぜの違い

	インフルエンザ	かぜ
感染力	強い	強くない
初期症状	強い寒気、頭痛、悪寒	くしゃみ、鼻水、喉の痛み
発熱	急性(39~40℃)	徐々に上がる(37.5℃)
筋肉痛	全身(腰、関節、筋肉など)	軽い
くしゃみ、鼻水	後から少しある	最初からある
咳	強い	軽い
目の充血	しばしばある	あまりない
経過	やや長引く	短期間で治ることが多い
免疫	3~4か月	短期間

### お知らせ

- ① 年度末になります。退園や引っ越しがわかり次第、早急に本園までご連絡ください。
- ② 新型コロナウイルスの感染拡大が心配されています。そこで、今後予定していた行事等の内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。

→ 園内お別れ会

